

次号予告

特集 褥創

褥創損傷者の褥創に対する医学的管理

.....兵庫リハビリセンター 南 久雄
 老年者の褥創に対する医学的管理.....石川県立中央病院 内山 伸治
 ナーシングケアによる褥創損傷者の褥創管理

.....国療箱根病院 御嶽 延代・他
 褥創の管理と指導.....山陰労災病院 子道寿美子・他

<随想> 私はこうして褥創を克服した...全国褥創連絡会 藤田 利作
頸損連絡会 中西 正司
九州リハビリ大学校 橋元 隆

とびら

講座 痛みの生理学 9. 電気麻酔の原理と痛みに対する

電気刺激の生理的作用.....熊本大学 加納 竜彦・他

薬物療法の基礎知識 2. 心疾患国療中野病院 奥田 佳久

プロGRESS 脊髄小脳変性症における薬物療法の最近の進歩...奈良医大 真野 行生

養成校紹介 岩手リハビリテーション学院.....清水 宏一

国立仙台病院付属リハビリテーション学院.....渡辺 京子・他

あんてな 感覚統合の慢性分裂病への応用.....神戸大医療技短 小平 憲子

資料 第18回 理学療法士・作業療法士国家試験問題一模範解答 (N)

編集後記

「OT は活動を利用して患者にはたらかかけるのです……」は、耳にタコの出来る程に唱えられている呪文のひとつです。しかし、ある活動を治療手技として述べよということになりますと、途端に歯切れが悪くなってしまいます。もしかしたら OT 自身が「活動」に直面するのをどこかでタブー視しているのかもしれません……。こんなことを考えながら今回の特集を組んでみました。

中井先生には自宅療養中と伺っていましたが、無理を承知の執筆依頼をお引き受け頂きましたこと、深く御礼申し上げます。中井流さりげなさともいえる淡々とした論旨の展開に、思わず引きづりこまれていきます。PT 諸氏にも、精神科は知らんとおっしゃらずに、行間も含めて読みこんで頂きたい論文です。

松井論文では音楽活動のもつ精神病理学的特徴、音楽活動を利用した診断項目など、具体的な治療手技よりはむしろ音楽活動に対する見方や考え方の基本的枠組を明確に整理して頂きました。他の活動につい

て考えていく時の貴重なヒントを得られるのではないかと期待しています。

広沢、工藤両氏には、いずれも臨床での事例を中心に手芸、スポーツ活動に挑戦して頂きました。多種多様な活動を必要に応じて（時には患者のニーズとは無関係に）利用せざるを得ない OT の現状を考えると、特定の活動について述べることは大変な作業であつたろうと推察いたします。読者諸氏からの御意見をお待ちしております。

講座は「薬物療法の基礎知識」が開講し、快調なスタートを切りました。今後の展開が楽しみです。“Physical Therapy” (1982) まとめも、最新の情報を豊富に提供してくれています。

さて、皆様の夏休みはいかがですか。個人的なことで恐縮ですが私は今年の春、信州大学医療技術短大に移りました。こちらの夏は予想以上に快適で、常念岳を見ながら新しい職場での第1適応期を過ごしています。お元気で。

(富岡 詔子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
埼玉県障害者リハビリセンター所長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーシ
■ンクリニック高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秋
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元

宇都宮 初 夫

大 丸 幸 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

木 沢 信 子

駒 村 治 夫

佐 藤 馨 明

嶋 田 智 明

鈴 木 明 子

関 昌 家

高 橋 正 明

橋 屋 久 隆

橋 元 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)